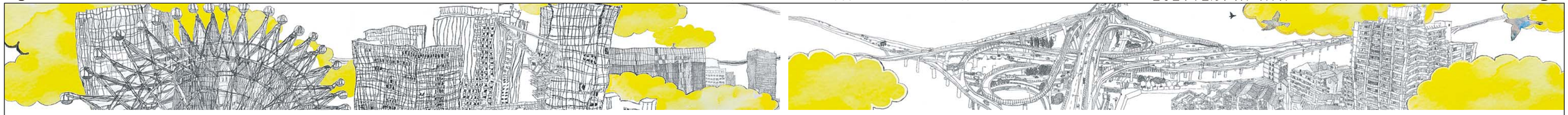
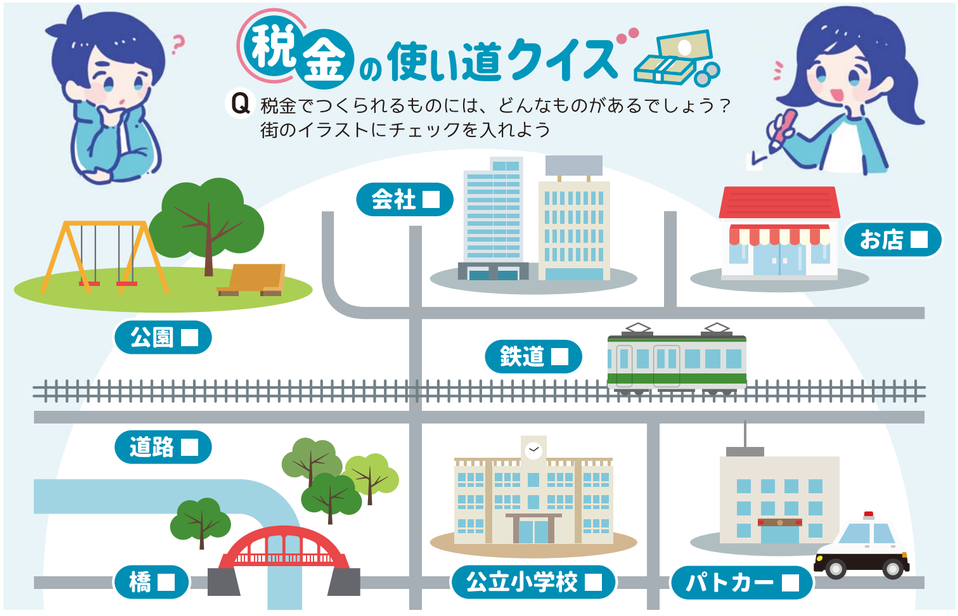


社会や教育 支える力に

税金の役割、使い道 考えよう

みなさんは税金を身近に感じる機会はありますか。消費税が増えると、お小遣いで買えるものが減る？　今は、おうちの方が確定申告の準備で忙しい？　負担するイメージが強い税金ですが、そのお金はみなさんの生活や学校のために使われ、社会で大切な役割を果たしています。みんなも将来働いてお金をかせぐと、消費税以外にも多くの税金を払うようになります。このように一生付き合う税のことを、専門家の税理士さんに聞きました。依頼者の代わりに税の申告をしたり、会社経営をアドバイスしたりする仕事のやりがいも話してもらいました。（聞き手・古市大）



「公平」な負担が原則

Q 税金はどんなことに使われるの？

A みんなが持っている教科書にヒントがあります。裏表紙を見てください。「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています」と書いてあります。教科書は税金で作られ、無料で配られているんですね。

公立小学校に児童1人が1年間通うために使われる費用はどれくらいか知っていますか。1校あたり15～20億円かかる学校の建設費、先生たちの給料などを計算すると、1人あたり約88万5千円（2017年度）になるそうです。この費用も税金でまかなわれています。

「税金によって無償で支給されています」と明記された小学校の教科書

誰も納めなかったら

Q もし誰も税金を納めなかったら、どうなるの？

A 教科書は有料になり、小学校は建設費を負担した人の子どもしか通えないかもしれません。教育だけではありません。ごみも収集されず、給料が出せないので警察官や公務員もいなくなります。医療費は高くなり、道路や公園も荒れてしまうでしょう。

個人でとてもまかないきれないたくさんのお金を、多くの人から税として集めて、みんなの生活に必要なことに使っているんですね。

Q どういう形で、みんなが税金を負担するのがいいのかな？

A 収入がみんな同じなら同じ金額の税金を出し合えばよいですね。でも、ひとりひとり収入が違う時は、誰かの利益を優先することなく負担し合う「公平」を目指すことが大事です。

収入が多い人が多く納める所得税、どんな人でも同じ税率の消費税、家や自動車を持っている人が納める固定資産税や自動車税。日本の税は約50種類あります。税の種類がたくさんある理由の一つは、個人や会社の負担する力を、いろいろな角度からとらえ、組み合わせることで、公平な負担につながると考えているからです。

みんなで決める

税金の使い道やルールは、私たち国民が選挙で選んだ国会議員が国会で決めます。つまり、私たちの税金は、私たちみんなで決めることになります。税金を有意義に使うために、どこに税金が使われるのかに関心を持ち、多くの人たちの生活を支えていることを想像しましょう。

（協力・近畿税理士会中京支部の税理士、田尻泰子さん、安田聖さん、前田佳子さん）

クイズの答え
公園、道路、橋、公立小学校、パトカーは税金で作られています

ジュニアトピックス

税理士の仕事 やりがいは？

「最悪を避け 幸せ守る」

30年超の経験を持つ **吉田和正さん**（64）

税理士として30年以上の経験を持ち、昨年10月に創立40周年を迎えた近畿税理士会中京支部で記念事業の実行委員長を務める吉田和正さん（64）に仕事の魅力を話してもらいました。

◇

日本には、税を納める人自身が商売や仕事で得た利益とそれに応じた税金の額を計算し、税務署に伝えて税を納める仕組み（申告納税制度）があります。この申告納税は、会社や個人にとって税が複雑で難しいところもあるため、税理士は依頼を受けて、税の専門家としてお手伝いしています。

さらに、会社の社長さんが日常的に経営のことを相談できるお医者さんのような役割も果たしています。お金の流れなど数字を通して無駄な出費を早く見つけ、採算の合わない仕事をやめるといった治療をアドバイスしたりします。そうすることで倒産のような最悪の事態を避け、会社が長く続くように助けて、会社に関係する人たちの生活と幸せを守りたいと考えています。

20年ほど前、商売がうまくいかず、自宅を売ることで税を納めて借金を返し、生活に困った人から相談がありました。助ける方法がないか法律を調べ、納めた税金を返してもらうことができました。そのお金で新しい家を買い、商売も続けることができて、ご家族から感謝されたことは今もよく覚えています。

税金の計算方法を決める法律は、現在の新型コロナウイルス流行や少子高齢化による社会や景気の変化で、毎年のように変わります。私たちは常に勉強し、一人一人違う依頼者の要望を理解した上で、知恵と経験を生かして答えを見つけなければいけません。難問を解決する方法はないかとずっと考え、答えがひらめくことも多いです。なのでクイズが好きな人、考えるのが好きな人は向いていると思います。

私の場合は、実家が西陣織の商売をしていたので、小さいころから商売や数字に興味がありました。大学を卒業し会社員になりましたが、資格という武器を持って自分の可能性を試したいと会計事務所に転職し、7年かかって税理士試験に合格しました。みなさんは失敗を恐れず、多くの体験や挑戦して将来の夢をかなえてほしい。税理士は人の役に立てるから楽しい仕事ですよ。

上 税理士の魅力を語る吉田和正さん（京都市中京区）
下 確定申告の仕事について、一緒に働く税理士にアドバイスする